

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印



記

事業の名称	コミュニティ誌発行事業
事業実施前の状況	協議会の存在や活動内容について、地域全体に広報することで理解をしてもらっている。
事業実施後の状況	校区に居住する住民に、協議会の活動報告やアンケート調査の実施により、協議会の活動について理解を得たり、地域住民の考え方などを知ることができた。
事業の効果	校区に居住する住民に、協議会の活動内容を周知することにより、理解、協力と参加を促進することができた。
今後の課題等	今後も益々内容の充実を図り、毎年実施している事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。

平成25年5月〇/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	地域コミュニティ推進協議会拠点整備事業
事業実施前の状況	共同利用施設呉服会館の1室を地域コミュニティ推進協議会の活動拠点とすべく備品の整備を進めている。
事業実施後の状況	共同利用施設呉服会館の小会議室を拠点とした地域活動の活性化を図られた。
事業の効果	協議会における役員会や各部会の活動が活発に展開され、地域分権推進に大いに役立っている。
今後の課題等	小会議室の再整備と備品購入で協議会活動の更なる活性化を図る。

平成25年5月3日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	地域内の共同利用施設「姫室室町会館」の会議用机が老朽化しているため、利用者から買い換えの要望があったので購入した。
事業実施後の状況	共同利用施設「姫室室町会館」の老朽化した会議机を新規に買い換えることにより、利用者の賛辞の声を届いた。
事業の効果	以前の机は老朽化も激しかったが、重くて利用者であるお年寄りには負担であった。奇麗で軽量化された机は大いに歓迎されている。
今後の課題等	他の共同利用施設の備品も買い換えを検討していきたい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	地域内にある呉服南自治会の掲示板の老朽化が激しいため、広報活動に支障があった。
事業実施後の状況	老朽化した掲示板に変わり、新たに設置した掲示板は、ワイドで大きなポスターも充分張ることができ、住民からも賛辞の声があった。
事業の効果	ワイドで見やすい掲示板に付け替えたため、地域の広報活動が活発化した。
今後の課題等	地域のお知らせや地域コミュニティ推進協議会の活動も、この掲示板を通じて地域住民に広く知らせることができる。今後も広報活動の充実を図る。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	青パト隊パトロール活動事業
事業実施前の状況	青パトでの呉服小学校区内巡回パトロール実施により、各種犯罪の抑止効果を図る。
事業実施後の状況	青パト専用駐車場を呉服会館敷地内に設置することができ、隊員の自覚を高め、巡回回数や巡回範囲の拡充を図ることができた。
事業の効果	呉服小学校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止効果に車両を活用できた。
今後の課題等	より一層の巡回活動の充実を図る。

平成25年5月8日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	くれはフェスタ開催事業
事業実施前の状況	くれは地域内のコミュニケーションの充実を図ることを目的にフェスタを開催する。
事業実施後の状況	地域内の各種団体の協力を得て、ステージをはじめ模擬店等を盛り上げていただき、地域内のコミュニケーションの充実を図ることができた。
事業の効果	共に協力し、目的を達成できたことよりも地域の方々とコミュニケーションを図ることができたことは大きな収穫である。
今後の課題等	地域内のコミュニケーションを今後も積極的に図り、地域のつながりを広げていきたい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	MTPフェスティバル支援事業
事業実施前の状況	池田地域コミュニティ推進協議会と共に、MTPフェスティバルの支援を行う。
事業実施後の状況	小学校区から中学校区へと範囲が広がり、また、他の地域コミュニティとの交流も活発にできた。
事業の効果	MTPフェスティバルに当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れた。
今後の課題等	他地域の行事への報奨金も検討しながら、フェスティバルが活性化するよう努める。

平成25年5月/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	散水栓敷設事業
事業実施前の状況	満寿美町と宇保町との境にある花壇に水を撒くため、隣接の店からもらい水をしていた。
事業実施後の状況	花壇専用の散水栓を敷設することにより、隣接のお店に迷惑をかけることもなくなった。
事業の効果	気兼ねなく花壇の世話ができるようになり、花を愛でる愛好家たちも集い、地域のコミュニケーションも図れるようになった。
今後の課題等	出入口を整備することで、もっと地域の人達が集いあえる環境にしていきたい。

平成25年5月8日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	呉服小学校花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	昨年度より引き続き実施している事業で、地域と学校が一緒になって花を育てる活動を支援する。
事業実施後の状況	「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動を支援する。
事業の効果	呉服小学校と地域が一緒になって花を育てるプロジェクトに参加し、子ども達が花を育てる喜びを感じ、感性豊かな心を育む事ができた。
今後の課題等	感性豊かな子ども達を育てていく事業にも、今後とも積極的に対応していきたい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	歩行者用ストップマーク設置事業
事業実施前の状況	児童の登下校時に利用する通学路に、交通事情の激しい危険な箇所があり、交通事故が発生しないかと気になっていた。
事業実施後の状況	交通事情の激しい危険な箇所にストップマークを設置したことにより、交通事故から子ども達を守る事ができる。
事業の効果	ストップマークを設置したことにより、子ども達はその場で一旦立ち止まる事により、交通事故を回避できる。
今後の課題等	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。

平成25年5月〇/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	前年までの4年間引き続き実施してきた事業であり、住民要望をはじめ協議会での検討も含め、未実施箇所への設置を予定。
事業実施後の状況	関係部局と協力しながら、住民要望に合わせた事業を展開した。
事業の効果	住民が住みやすい環境づくりに寄与できた。
今後の課題等	今後とも、住民からの要望を聞き、安心して住める街づくりを推進していく。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域

コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	カーブミラー設置事業
事業実施前の状況	児童の登下校時に利用する通学路に、見通しの悪い交差点があり、交通事故が発生しないかと気になっていた。
事業実施後の状況	見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置したことにより、交通事故から子ども達を守る事ができる。
事業の効果	カーブミラーの設置により、子ども達はその場の状況を判断できるようになり、交通事故を回避できるようになった。
今後の課題等	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	呉小吹奏楽クラブ支援事業
事業実施前の状況	呉服小学校の吹奏楽クラブの楽器が老朽化していて、正確な音程を出せない状態である。
事業実施後の状況	老朽化した楽器を新規購入することで、古い楽器を新しく入ってくる児童の練習用に活用している。
事業の効果	新しい楽器演奏で技術の向上に役立つとともに、練習用の楽器ができたことで更なるレベルアップが図れる。
今後の課題等	老朽化した楽器を年次計画（3～5年）によって新規購入を図る。

平成25年5月3日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	見守りパトロール隊強化事業
事業実施前の状況	見守り隊が統一ベストを着用して児童の見守り活動を行っているが、ベストの支給が不足している。
事業実施後の状況	全員に統一ベストを支給でき、子ども達も安心して登下校ができるようになった。
事業の効果	見守り隊の連携意識が高まり、登下校時の児童の安全が確保された。
今後の課題等	見守り隊のメンバーチェンジが進めば、再度考慮する余地も必要かと考察する。

平成25年5月3日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	地域のスポーツ振興会が開催している市民レクリエーション大会に、池田市が報償費として支出していた。
事業実施後の状況	池田市に代わり、当協議会が行事報償金として支出する。
事業の効果	市民レクリエーション大会に当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れる。
今後の課題等	他地域の行事報償報奨金とも検討し、校区の市民レクリエーション大会が活性化するよう努める。

平成25年5月2/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	演奏会等文化事業
事業実施前の状況	校区内での文化事業は、昨年は池田駅前での「クレハフェスタ」を実施したが、今年度は趣を変え呉服小学校で吹奏楽をはじめ音楽を中心に実施した。
事業実施後の状況	呉服小学校の吹奏楽やプロ歌手等による音楽祭を開催することにより、校区に一体感が生まれた。
事業の効果	開催内容（呉小吹奏楽の演奏等）の検討や準備を校区の住民と協力しながら行うことにより、人間関係も構築され連帯感が生まれた。
今後の課題等	地域の小学校とのコラボレーションや地域との交流により、地域にとけ込んだイベントととしてより一層の連帯感を生み出した。